

# 事業報告書

(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

## 1. 事業の概況

### (1) 平成18年度の事業概況

当財団は、住友グループ20社が現在の住友の諸事業の礎である別子銅山の開坑300年を記念して設立したもので、「人類社会の直面する諸問題の解決・改善を目的とする諸分野における研究及び事業に対し、国際的な視野をもって、時代の要請に適った助成を行い、もって人類の豊かな社会建設に資することを目的とする」助成財団として、平成3年9月25日に内閣総理大臣の設立許可を得て助成事業を開始しました。

第16期の平成18年度は、当財団の設立15周年を記念して、国内及び海外の文化財維持・修復事業助成への応募事業を対象に「15周年記念助成」を実施、例年実施している5つの公募助成プログラムについては概ね前年度並の助成を行った結果、総助成件数は前年度比15件増加して258件、総助成金額は前年度比2千万円余増加して3億6千6百万円余となりました。

経理面では、長期金利の低水準が続きましたが、前年度に行った債券の買い替えによる運用利回り向上効果の通期寄与により、助成事業の財源となる運用収益はネットで前年度比1千1百万円余増加、15周年記念事業費等の経費増及び助成金増はあったものの、当期一般正味財産増減額は3千3百万円余増加し、期末残高は30億4千8百万円余となりました。

加えて住友各社より基金として4億3千万円の寄附を受けましたので、指定正味財産も増加して174億3千万円となり、当期末の正味財産残高は204億7千8百万円余となりました。

	助成件数(前年度比)	助成金額(前年度比)
(イ) 基礎科学研究助成	105件(+10件)	130,000千円(±0千円)
(ロ) 環境研究助成	56件(+6件)	100,000千円(±0千円)
(ハ) 文化財維持・修復事業助成	26件(+1件)	50,020千円(+20千円)
(ニ) 海外の文化財維持・修復事業助成	10件(±0件)	20,161千円除(-144千円除)
(ホ) 15周年記念助成	7件(+7件)	20,478千円除(+20,478千円除)
(ヘ) アジア諸国における日本関連研究助成	50件(-8件)	40,268千円除(+184千円除)
(ト) その他助成	4件(-1件)	5,500千円(+400千円)
合計	<u>258件(+15件)</u>	<u>366,429千円除(+20,939千円除)</u>

### (2) 経理の状況

景気拡大局面が持続するなか、公定歩合の二度にわたる引き上げが実施されたものの、物価の鎮静傾向等を背景に長期金利は低水準で推移し、運用環境は引き続き厳しいものでありました。このため当期中に行った債券の償還に伴う買い替えでは運用利回りの低下を余儀なくされましたが、前年度に行った債券の買い替えによる運用利回り向上効果が当期フルに寄与し

た結果、運用損を差し引いたネットの運用収益は5億円余と前年度比1千1百万円余増加しました。更に時価評価した一部債券の評価益1百万円余、寄附金2百万円余、雑収益も加わって経常収益は5億9百万円余（運用損を差し引いて5億5百万円余）となりました。

当財団の設立15周年を迎えて本年度は15周年記念助成を実施しましたので、助成金額合計は3億6千6百万円余と前年度に較べ2千万円余増加し、15周年記念事業費や事業関係の旅費交通費の増加により助成金を除く事業費・管理費も合計で1億6百万円余と前年度比6百万円余増加しましたが、当期経常増減額は3千3百万円余の増加となり、一般正味財産も同額増加して期末残高は30億4千8百万円余となりました。

また、平成19年3月に住友各社が平成23年9月末までの間に総額25億円の基金積み増しを決定し、そのうち4億3千万円を指定正味財産として当期中に受け入れましたので、指定正味財産も増加して期末残高は174億3千万円となり、一般正味財産と指定正味財産を合計した当期末の正味財産残高は204億7千8百万円余となりました。

### (3) 平成18年度の助成

平成18年3月9日開催の理事会・評議員会で決定・承認された事業計画に基づいて、以下の助成を行いました。

#### (イ) 基礎科学研究助成

重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ若手研究者による萌芽的研究に助成を行うもので、平成18年4月14日～6月末に公募したところ、応募件数で前年度比102件減少の1,197件、助成申請金額で同2億6千7百万円余減の33億3千3百万円余の応募がありました。

下記の13名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに8月4日及び9月29日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、105件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	西島和彦	東京大学・京都大学	名誉教授
選考委員	井上佳久	大阪大学	教授
	榎敏明	東京工業大学	教授
	岡野栄之	慶應義塾大学	教授
	鯉沼秀臣	科学技術振興機構	シニアフェロー
	小山勝二	京都大学	教授
	坂野仁	東京大学	教授
	佐藤文彦	京都大学	教授
	下山勲	東京大学	教授
	樽茶清悟	東京大学	教授
	濱田博司	大阪大学	教授
	宮岡洋一	東京大学	教授
	渡邊公綱	産業技術総合研究所	生物情報解析研究センター長

選考委員会の選考結果に基づき、平成18年10月19日開催の理事会・評議員会において審議の結果、105件、助成金総額1億3千万円(事業計画通り)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成18年11月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

尚、期中に平成17年度の助成実施分について助成辞退(対象者逝去)の申し出が1件あり、助成金の返還を受けました。

## (ロ) 環境研究助成

人類の直面している最大の問題の一つである環境問題に、研究助成という形で取り組んでいるもので、環境に関する様々な視点(人文・社会科学分野、自然科学分野)からの研究に助成を行っています。

「一般研究」と「課題研究」(本年度募集課題:アジアを対象とする協働型環境研究の提案とその試行)について、平成18年4月14日～6月末に公募したところ、応募件数で前年度比49件増の657件(内課題研究同20件増の58件)、助成申請金額で同2億9千8百万円余増の22億8千9百万円余(内課題研究5億1千5百万円余)の応募がありました。

下記の7名の先生に選考委員を、1名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査並びに7月21日及び9月15日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、56件(内課題研究3件)の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	安井 至	国際連合大学 副学長
選考委員	岩坂泰信	金沢大学 教授
	植田和弘	京都大学 教授
	及川武久	筑波大学 教授
	木村真人	名古屋大学 教授
	花木啓祐	東京大学 教授
	盛岡 通	大阪大学 教授
専門委員	高野裕久	国立環境研究所 環境健康研究領域 領域長

選考委員会の選考結果に基づき、平成18年10月19日開催の理事会・評議員会において審議の結果、一般研究53件、課題研究3件、助成金総額1億円(事業計画通り)の助成対象を決定しました。採択者に対する助成金の交付は平成18年11月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

## (ハ) 文化財維持・修復事業助成

「心の豊かさ」と「文化」を大切にし、人類共通の財産である文化財を後世に継承するため、日本国内にある美術工芸品の維持・修復事業を対象として助成しているもので、平成18年10～11月に公募したところ、78件（前年度比7件増）、助成申請金額で1億7千8百万円余（同1千1百万円余増）の応募がありました。

下記の3名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに平成18年12月22日及び平成19年1月24日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、26件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	田邊三郎助	町田市立博物館 館長
	三輪嘉六	九州国立博物館 館長
	渡邊明義	平山郁夫シルクロード美術館 顧問

選考委員会の選考結果に基づき、平成19年3月6日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の26件、助成金総額5千万円余（事業計画比微増）の助成対象を決定しました。採択者に対する助成金の交付は平成19年3月より行っております。

## (二) 海外の文化財維持・修復事業助成

上記（ハ）と同じ趣旨に加えて国際交流の観点から、海外にある文化財（美術工芸品及び遺跡）の維持・修復事業とその事前調査（維持・修復に直接つながるもの）を対象として助成しているもので、平成18年10～11月に公募したところ、16カ国（文化財の所在では24カ国）から36件（前年度比12件増）、助成申請金額で1億1千7百万円余（同4千万円余増）の応募がありました。

国内の文化財と同一の選考委員会で選考の上、平成19年3月6日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の10件、助成金総額2千万円余（事業計画比微増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成19年3月より行っております。

## (ホ) 15周年記念助成

当財団の設立15周年を記念した助成で、平成18年度の「文化財維持・修復事業助成」及び「海外の文化財維持・修復事業助成」の応募合計114件を対象として、上記（ハ）及び（二）と同一の選考委員会で選考の上、平成19年3月6日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の7件、助成金総額2千万円余（事業計画比微増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成19年3月より行っております。

## (へ) アジア諸国における日本関連研究助成

国際相互理解増進の観点から、主に東アジアと東南アジア諸国における日本に関連する人文・社会科学分野の研究に対して助成を行っているもので、平成18年9～10月に公募したところ、13の国・地域から、290件(前年度比55件増)、助成申請金額で3億2千2百万円余(同6千4百万円余増)の応募がありました。

下記の2名の先生に選考委員を、9名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査及び平成19年2月13日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、50件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	加藤 剛	龍谷大学 教授
	小島 朋之	慶應義塾大学 教授
専門委員	石井正子	京都大学 助手
	小笠原欣幸	東京外国語大学 助教授
	岡本正明	京都大学 助教授
	木宮正史	東京大学 助教授
	佐藤 宏	一橋大学 教授
	園田茂人	早稲田大学 教授
	信田敏宏	国立民族学博物館 助教授
	宮田敏之	東京外国語大学 助教授
	柳澤雅之	京都大学 助教授

選考委員会の選考結果に基づき、平成19年3月6日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の50件、助成金総額4千万円余(事業計画比微増)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成19年3月より行っております。

## (ト) その他助成

この助成プログラムは、理事会・評議員会の直接の決定により

- ①本財団の将来のプログラム展開上、意義大と思われる研究及び事業に対する助成
- ②緊急を要するもので本財団としての対応が必要と認められる研究及び事業に対する助成
- ③事業計画に掲げた助成プログラムと関連し、これを補充、強化する研究及び事業に対する助成

等を行うもので、本年度は、平成18年3月9日及び平成18年6月8日開催の理事会・評議員会において、添付資料記載の4件、5百万円余の助成対象を決定・承認しました。

助成金の交付は、助成決定後順次行っております。

## 2. 役員・評議員 (平成19年3月31日現在)

(50音順)

役名	氏名	主たる職業
会長 理事長 専務理事 理事	杉村 隆	国立がんセンター 名誉総長
	住友吉左衛門	住友金属工業 技監
	石川 睦夫	(常勤)
	池端 雪浦	東京外国語大学 学長
	石 弘光	中央大学 特任教授
	奥 正之	三井住友銀行 頭取
	奥田 碩	トヨタ自動車 取締役相談役
	勝俣 恒久	東京電力 社長
	熊谷 信昭	兵庫県立大学 学長
	小林庄一郎	関西電力 顧問
	佐々木 元	日本電気 会長
	長尾 真	情報通信研究機構 理事長
	西島 和彦	東京大学・京都大学 名誉教授
三浦 朱門	作家	
宮崎 清文	日本交通福祉協会 会長	
吉川 弘之	産業技術総合研究所 理事長	
吉野 泰生	住友生命保険 会長	
監事	高橋 温	住友信託銀行 会長
	森田松太郎	ARI研究所 理事長
	渡邊 利夫	拓殖大学 学長
	石川 忠雄	慶應義塾大学 名誉教授
	植村 裕之	三井住友海上火災保険 前社長
	岡田 節人	京都大学 名誉教授
	神谷 不二	慶應義塾大学 名誉教授
	茅 陽一	東京大学 名誉教授
	ガレゴリー・クラーク	国際教養大学 副学長
	古在 由秀	国立天文台 名誉教授
	小林 俊一	秋田県立大学 理事長 兼 学長
	下妻 博	住友金属工業 会長
	高城申一郎	住友不動産 会長
田丸 謙二	東京大学 名誉教授	
西原 春夫	早稲田大学 名誉教授	
野依 良治	理化学研究所 理事長	
平山 郁夫	日本美術院 理事長	
福島 孝一	住友金属鉱山 社長	
松本 正義	住友電気工業 社長	
宮原 賢次	住友商事 会長	
矢野 龍	住友林業 社長	
山田 康之	奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授	
米倉 弘昌	住友化学 社長	
評議員		

役員・評議員共に任期は平成17年7月1日～平成19年6月30日です。  
期中の異動

平成18年10月17日 評議員 木村 尚三郎 退任(逝去)

### 3. 職 員（平成19年3月31日現在）

職 名	氏 名	任 用 年 月 日	担 当 業 務
事務局長	宮川 康雄	平成18年 6月 8日	全 般
総務部長	千種 信雄	平成17年 4月 1日	総 務 経 理
企画部 助成担当部長	栗田口和久	平成17年 2月 1日	助 成 事 業
〃	中山 達弥	平成11年 4月 1日	〃
〃	竹村 武志	平成18年12月13日	〃
〃	佐藤 清貴	平成17年11月 1日	〃
総務部員	大場 純子	平成13年 3月21日	総 務 経 理
企画部員	和泉 佳子	平成18年12月11日	助 成 事 業

#### 期中の異動

事務局長	石川 睦夫	平成18年 6月 8日	退任
	宮川 康雄	平成18年 6月 8日	任用
企画部 助成担当部長	水野 隆	平成18年11月29日	退任
	竹村 武志	平成18年12月13日	任用
企画部員	和泉 佳子	平成18年12月11日	任用
	関根 典子	平成18年12月28日	退任

### 4. 主要事業日誌

平成18年 4月14日～ 6月30日 「基礎科学研究助成」及び「環境研究助成」公募

6月 8日 第45回評議員会

平成17年度事業報告及び決算承認

平成18年度「その他助成」助成先（2件）承認

事務局長選任承認

6月 8日 第52回理事会

平成17年度事業報告及び決算承認

平成18年度「その他助成」助成先（2件）決定

事務局長選任可決

7月21日「環境研究助成」第1回選考委員会

8月 4日「基礎科学研究助成」第1回選考委員会

9月 1日～10月31日 「アジア諸国における日本関連研究助成」公募

9月15日「環境研究助成」第2回選考委員会

9月29日「基礎科学研究助成」第2回選考委員会

10月 1日～11月30日 「文化財維持・修復事業助成」公募

「海外の文化財維持・修復事業助成」公募

10月19日 第46回評議員会

平成18年度「基礎科学研究助成」助成先(105件)承認

平成18年度「環境研究助成」助成先(56件)承認

平成19年度「環境研究助成」『課題研究』のテーマ承認

選考委員(平成18～19年度「文化財維持・修復事業助成」及び「海外の文化財維持・修復事業助成」2名)選任承認

10月19日 第53回理事会

平成18年度「基礎科学研究助成」助成先(105件)決定

〃 「環境研究助成」助成先(56件)決定

平成19年度「環境研究助成」『課題研究』のテーマ決定

選考委員(平成18～19年度「文化財維持・修復事業助成」及び「海外の文化財維持・修復事業助成」2名)選任

12月22日「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」及び「15周年記念助成」第1回選考委員会

平成19年 1月24日「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」及び「15周年記念助成」第2回選考委員会

2月13日「アジア諸国における日本関連研究助成」選考委員会

3月 6日 第47回評議員会

平成18年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(26件)承認

〃 「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(10件)承認

「15周年記念助成」助成先(7件)承認

〃 「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先(50件)承認

寄附金(基金増額)受け入れ承認

平成19年度収支予算及び事業計画承認

平成19年度「その他助成」助成先(1件)承認

3月 6日 第54回理事会

平成18年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(26件)決定

〃 「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(10件)決定

「15周年記念助成」助成先(7件)決定

〃 「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先(50件)決定

寄附金(基金増額)受け入れ決定

平成19年度収支予算及び事業計画決定

平成19年度「その他助成」助成先(1件)決定